

2011年3月期 第2四半期 決算説明会

2010年11月11日
南海電気鉄道株式会社

本日の内容

- 1 . 2011年3月期 第2四半期決算の概要 …… P 3
- 2 . セグメント別の状況(2011年3月期第2四半期) … P 6
- 3 . 2011年3月期の業績予想 …… P 15
- 4 . 3か年経営計画の進捗状況 …… P 19



1. 2011年3月期 第2四半期決算の概要

1) 業績ハイライト

(単位:百万円・%)

	2009年9月期	2010年9月期	増減額	増減率
売上高	90,502	92,056	1,554	1.7
営業利益	10,650	11,676	1,026	9.6
経常利益	6,220	7,584	1,364	21.9
四半期純利益又は 四半期純損失()	4,547	126	4,673	-

増減理由 売上高：運輸業を除き、不動産業ではマンション分譲の販売増加、レジャー・サービス業では新規ビルメンテナンス物件の増加等により増収

営業利益：減価償却費の増加により減益となった不動産業を除き増益

四半期純利益：下記会計方針変更に伴うタックスプランニングの見直しによる繰延税金資産の取崩しにより純損失計上

会計方針の変更：鉄道事業における連続立体交差化工事等を行うに当たり、地方公共団体等より工事費の一部として工事負担金等を受領して固定資産を取得した場合には、取得原価の総額を固定資産に計上していましたが、当該工事負担金等を取引した固定資産から直接減額する方法に変更いたしました。

1. 2011年3月期 第2四半期決算の概要

2) 資産の状況

(単位:百万円)

	2010年3月末	2010年9月末	増減額
流動資産	94,777	82,881	11,896
固定資産	724,576	720,205	4,370
資産合計	819,354	803,087	16,266
負債合計	691,188	678,143	13,045
有利子負債	505,736	500,049	5,687
純資産合計	128,165	124,944	3,221
負債純資産合計	819,354	803,087	16,266

増減理由 流動資産：大型工事未収金の回収等による減少

固定資産：連続立体交差化工事の進捗等による建設仮勘定の増加があったものの、会計方針の変更に伴い繰延税金資産を取崩したことによる減少

負債：支払手形及び買掛金の減少及び借入金の返済等による減少

純資産：剰余金の配当による減少及び四半期純損失の計上等による減少

1. 2011年3月期 第2四半期決算の概要

3) キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2009年9月期	2010年9月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,621	16,511	4,890
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,991	8,103	1,111
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,112	8,491	378

営業活動によるキャッシュ・フロー
たな卸資産の減少による収入の増加

投資活動によるキャッシュ・フロー
固定資産の取得による支出の増加

財務活動によるキャッシュ・フロー
社債の償還及び社債による調達額の減少による支出の増加

2. セグメント別の状況 (2011年3月期 第2四半期)

セグメントの構成状況 (2010年9月末現在)

【連結子会社55社・非連結子会社11社・関連会社4社(うち持分法適用会社2社)】

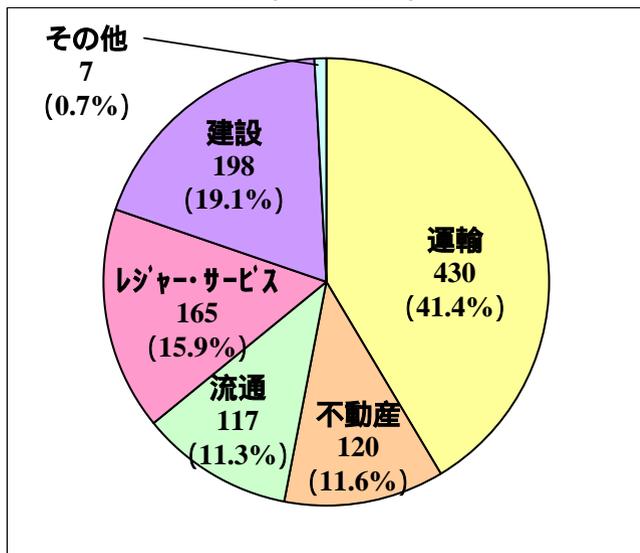
注. 第1四半期会計期間から、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用したことにより、マネジメント・アプローチに基づいたセグメント区分に変更しております。

(増減 連結子会社 + 1社(日本ケーモ-工事株式会社) (対 2010年3月末現在))

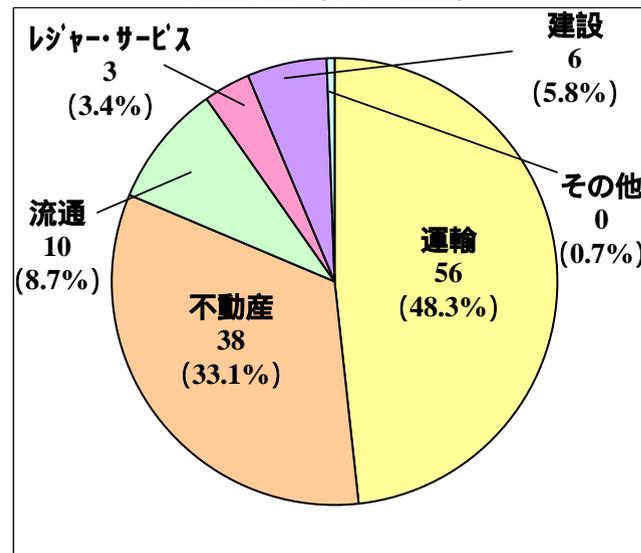
運輸業 (29社)	不動産業 (4社)	流通業 (7社)	レジャー・サービス業 (24社)	建設業 (6社)	その他の事業 (6社)
---------------------	---------------------	--------------------	----------------------------	--------------------	-----------------------

当社および南海都市創造株式会社は複数セグメントに重複して含まれております。

売上高 (単位:億円)



営業利益 (単位:億円)



2. セグメント別の状況(2011年3月期 第2四半期)

1) セグメント別売上高

(単位:百万円・%)

	2009年9月期	2010年9月期	増減額	増減率
運輸業	43,555	43,024	530	1.2
不動産業	11,337	12,056	719	6.3
流通業	11,223	11,716	493	4.4
レジャー・サービス業	15,764	16,537	773	4.9
建設業	19,093	19,841	747	3.9
その他の事業	699	774	75	10.7
調整額	11,171	11,895		
合計	90,502	92,056	1,554	1.7

注・第1四半期会計期間から、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用したことにより、マネジメント・アプローチに基づいたセグメント区分に変更しており、前年同期との増減額及び増減率については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えうえで記載しております。

2. セグメント別の状況(2011年3月期 第2四半期)

2) セグメント別営業利益

(単位:百万円・%)

	2009年9月期	2010年9月期	増減額	増減率
運輸業	5,349	5,629	279	5.2
不動産業	4,228	3,866	361	8.5
流通業	714	1,017	303	42.5
レジャー・サービス業	89	390	301	335.1
建設業	387	681	294	76.2
その他の事業	31	79	48	156.4
調整額	149	10		
合計	10,650	11,676	1,026	9.6

注. 第1四半期会計期間から、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用したことにより、マネジメント・アプローチに基づいたセグメント区分に変更しており、前年同期との増減額及び増減率については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えたとうえで記載しております。

2. セグメント別の状況(2011年3月期 第2四半期)

3) 運輸業の実績 (減収増益)

(単位:百万円・%)

	2009年9月期	2010年9月期	増減額	増減率
鉄道事業	28,955	28,061	893	3.1
軌道事業	660	673	12	2.0
バス事業	11,871	12,277	406	3.4
海運業	1,220	1,017	203	16.7
貨物運送業	1,605	1,792	187	11.7
車両整備業	1,951	1,985	34	1.8
調整額(セグメント内)	2,709	2,783		
売上高	43,555	43,024	530	1.2
営業利益	5,349	5,629	279	5.2

増減理由 鉄道事業：旅客運輸収入、運輸雑収の減(前年同期 バリアフリー化工事負担金受入あり)

バス事業：関西国際空港リムジンバスの堅調による増(前年インフルエンザの影響による反動増あり)

海運業：和歌山徳島航路利用促進事業(社会実験)終了による反動減

2. セグメント別の状況(2011年3月期 第2四半期)

鉄道旅客収入と輸送人員表

(単位:百万円・千人・%)

全 線		2009年9月期 実績	2010年9月期 実績	増減率
旅客収入	定期外	14,905	14,938	0.2
	定期	11,907	11,717	1.6
	合計	26,812	26,656	0.6
輸送人員	定期外	43,477	43,772	0.7
	定期	72,425	71,891	0.7
	合計	115,902	115,663	0.2

空港線		2009年9月期 実績	2010年9月期 実績	増減率
旅客収入	定期外	1,622	1,684	3.9
	定期	567	574	1.4
	合計	2,189	2,259	3.2
輸送人員	定期外	1,953	2,026	3.7
	定期	1,769	1,804	2.0
	合計	3,722	3,830	2.9

2. セグメント別の状況(2011年3月期 第2四半期)

4) 不動産業の実績 (増収減益)

(単位:百万円・%)

	2009年9月期	2010年9月期	増減額	増減率
不動産賃貸業	9,595	9,496	99	1.0
不動産販売業	1,870	2,710	840	44.9
調整額(セグメント内)	128	150		
売上高	11,337	12,056	719	6.3
営業利益	4,228	3,866	361	8.5

主な利益内訳 不動産賃貸業 4,258(382)、不動産販売業 380(+42)

増減理由 不動産賃貸業：主に減価償却費の増(南海ターミナルビル再生工事関連)による減益

不動産販売業：マンション分譲等の販売促進による増収

主な分譲マンション「なんばグランドマスターズタワー」、「堺東ヴェ・モ」

2. セグメント別の状況(2011年3月期 第2四半期)

5) 流通業の実績 (増収増益)

(単位:百万円・%)

	2009年9月期	2010年9月期	増減額	増減率
ショッピングセンター の経営	5,611	5,705	94	1.7
物品販売業	6,110	6,491	380	6.2
その他	322	340	18	5.7
調整額(セグメント内)	820	820		
売上高	11,223	11,716	493	4.4
営業利益	714	1,017	303	42.5

増減理由 ショッピングセンターの経営：なんばパークス、なんばCITYリニューアル寄与他
物品販売業：難波駅改良工事の完成に伴う増床効果が通期寄与

2. セグメント別の状況(2011年3月期 第2四半期)

6) レジャー・サービス業の実績 (増収増益) (単位:百万円・%)

	2009年9月期	2010年9月期	増減額	増減率
遊園事業	755	607	148	19.6
旅行業	907	955	48	5.3
ホテル・旅館業	735	663	71	9.7
競艇施設賃貸業	2,705	2,619	86	3.2
飲食業	1,104	1,118	14	1.3
ビル管理メンテナンス業	7,569	8,438	868	11.5
印刷業	410	377	33	8.1
広告代理業	696	647	49	7.1
その他	1,880	2,108	227	12.1
調整額(セグメント内)	1,002	999		
売上高	15,764	16,537	773	4.9
営業利益	89	390	301	335.1

増減理由 遊園事業：みさき公園リニューアル(昨年3月)の反動減

ビル管理メンテナンス業：新規ビルメンテナンス物件の増加及びインターホリデイ(株)の連結子会社化
(昨年6月)が通期寄与

その他：葬祭事業拡大による増収等

2. セグメント別の状況(2011年3月期 第2四半期)

7) 建設業の実績 (増収増益)

(単位:百万円・%)

	2009年9月期	2010年9月期	増減額	増減率
建設業	18,205	19,341	1,135	6.2
建築材料卸売業	1,233	713	519	42.1
調整額(セグメント内)	344	213		
売上高	19,093	19,841	747	3.9
営業利益	387	681	294	76.2

増減理由 建設業：一部大型工事案件の利益率向上等による増益

8) その他の事業の実績 (増収増益)

(単位:百万円・%)

	2009年9月期	2010年9月期	増減額	増減率
その他	702	777	75	10.8
調整額(セグメント内)	2	2		
売上高	699	774	75	10.7
営業利益	31	79	48	156.4

3. 2011年3月期の業績予想

1) 連結業績のまとめ

(単位:百万円)

	2010年3月期 実績	2011年3月期		
		期初予想額	修正予想額	期初予想との 差異
売上高	185,848	196,400	195,500	900
営業利益	20,767	19,000	18,000	1,000
経常利益	12,006	10,200	9,300	900
当期純利益	9,916	5,600	1,900	3,700
設備投資額 ¹	27,004	27,800	24,100	3,700
減価償却費	22,432	22,800	22,500	300
EBITDA ²	43,199	41,800	40,500	1,300
有利子負債残高	505,736	506,100	500,500	5,600
有利子負債残高 / EBITDA倍率	11.7倍	12.1倍	12.4倍	

増減 売上高: ビル管理メンテナンス業等の増収があるものの、鉄道事業における工事負担金の会計方針変更により減収

理由 営業利益: コスト削減効果はあるものの、減収により減益

当期純利益: 工事負担金等圧縮額の特別損失計上、及びタックスプランニングの見直しによる減益

有利子負債残高: 設備投資支出時期のずれによる減少

¹修正予想額は、工事負担金等圧縮後の金額で表示

² EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

3. 2011年3月期の業績予想

2) 売上高の内訳

(単位:百万円)

売上高	2010年3月期 実績	2011年3月期		
		期初予想額	修正予想額	期初予想との 差異
運輸業	87,120	85,400	84,200	1,200
不動産業	24,395	27,200	26,200	1,000
流通業	23,038	23,400	23,200	200
レジャー・サービス業	35,206	32,500	33,300	800
建設業	38,945	49,600	48,800	800
その他の事業	1,906	1,800	1,700	100
調整額	24,765	23,500	21,900	
合計	185,848	196,400	195,500	900

増減 運輸業: バス運送収入の回復があるものの、鉄道事業における工事負担金の会計方針変更により減収

理由 不動産業: リフォーム事業の不振等による減収

レジャー・サービス業: 旅館業や遊園事業の減収があるものの、ビル管理メンテナンス業の設備工事発生や新規受注により増収

建設業: 南海砂利(株)株式の譲渡による減収

3. 2011年3月期の業績予想

3) 営業利益の内訳

(単位:百万円)

営業利益	2010年3月期 実績	2011年3月期		
		期初予想額	修正予想額	期初予想との 差異
運輸業	10,339	9,400	8,900	500
不動産業	7,561	7,000	6,400	600
流通業	1,433	1,300	1,600	300
レジャー・サービス業	758	800	500	300
建設業	880	600	600	0
その他の事業	197	200	100	100
調整額	404	300	100	
合計	20,767	19,000	18,000	1,000

増減 運輸業：鉄道事業における工事負担金の会計方針変更による減益

理由 不動産業：リフォーム事業の減収及び南海都市創造(株)合併に伴う調整による減益

流通業：広告宣伝費等の各種コスト削減による増益

レジャー・サービス業：旅館業や遊園事業の減収による減益

3. 2011年3月期の業績予想

4) 運輸業 鉄道旅客収入と輸送人員表

(単位:百万円・千人・%)

全線

全線		2010年3月期 実績	増減率 (対前年)	2011年3月期 期初予想	増減率 (対前年)	2011年3月期 修正予想	増減率 (対前年)
旅客収入	定期外	29,474	3.7	29,120	1.2	29,377	0.3
	定期	23,261	2.8	23,083	0.8	22,890	1.6
	合計	52,735	3.3	52,203	1.0	52,268	0.9
輸送人員	定期外	86,546	3.3	85,286	1.5	86,286	0.3
	定期	140,288	2.1	139,109	0.8	139,148	0.8
	合計	226,834	2.6	224,395	1.1	225,434	0.6

空港線

空港線		2010年3月期 実績	増減率 (対前年)	2011年3月期 期初予想	増減率 (対前年)	2011年3月期 修正予想	増減率 (対前年)
旅客収入	定期外	3,216	8.9	3,115	3.1	3,248	1.0
	定期	1,128	3.8	1,105	2.0	1,130	0.3
	合計	4,344	7.6	4,220	2.9	4,379	0.8
輸送人員	定期外	3,868	8.6	3,753	3.0	3,903	0.9
	定期	3,528	3.3	3,456	2.0	3,547	0.5
	合計	7,396	6.1	7,209	2.5	7,450	0.7

4.3 3か年経営計画の進捗状況

3か年経営計画「堅進126計画」数値目標

1) 修正数値目標(2011年3月期)

連結経常利益 100億円

連結有利子負債残高 / EBITDA倍率 12倍

2) 基本方針

「環境保全」のための取組み強化
提供するサービスの品質向上
なんばエリアのさらなる価値向上
有望事業の成長加速
沿線活性化の推進

4.3 3か年経営計画の進捗状況

3) 運輸業

基本方針

安全・サービスレベルの向上、新たな収益源の創出及び
効率的な事業運営体制の構築

安全レベルやお客さまへのサービスのさらなる向上

新型ATSの整備等、安全投資を実施

・2009年度実績：約35億円、2010年度計画：約55億円

駅バリアフリー化工事の推進

・2009年度：住ノ江、七道、湊、石津川、狭山の5駅の
工事を完了(当社負担額約4億円)

・2010年度：河内長野駅をはじめとする7駅で
工事を着工(当社負担額約13億円)

南海線で連続立体交差事業を推進

・堺市内、高石市内、泉大津市内



バリアフリー化工事を実施
した七道駅のエレベーター



建設中の泉大津連立

4.3 3か年経営計画の進捗状況

3) 運輸業

新たな収益源の創出及び効率的な事業運営体制の構築

阪堺電気軌道 阪堺線(堺市内区間)存続に係る
堺市の支援決定(10年間で支援総額50億円予定)



堺市内を走る阪堺車両

新規路線バス運行開始

- ・堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター直行バス(2010年7月)
- ・リムジンバス「堺東・関西空港線」(2010年10月)

新駅「和歌山大学前」の設置(2012年春開業予定)

- ・南海本線孝子駅～紀ノ川駅間

要員数、工事費削減等による効率的な
事業運営体制の構築



リムジンバス「堺東・関西空港線」



建設中の和歌山大学前駅

4.3 3か年経営計画の進捗状況

4) 不動産業、流通業 (なんばエリア)

基本方針

なんばエリアのさらなる価値向上に向けたプロジェクトの推進

難波土地区画整理事業用地の取得及び ライブホール(Zepp Osaka)誘致

【Zepp Osaka概要】

事業者	株式会社ホールネットワーク (株)ニー・ミュージックエンタテインメントの全額出資子会社)
開業時期	2012年春
収容人員	2,500名前後
敷地面積	約3,000㎡
建築面積	約2,300㎡



ライブホール(Zepp Osaka)位置図

南海都市創造株式会社を吸収合併(2010年10月)

- ・南海会館ビル建替計画の具体化に向けて、資産等を集約し、都市機能の強化等、総合的な課題に対する取組みの一元化・迅速化を図る

4.3 3か年経営計画の進捗状況

4) 不動産業、流通業 (なんばエリア)

難波駅改良工事完成(2009年10月)
・周辺施設との回遊性の向上、構内店舗の充実

なんばパークスリニューアルオープン

【リニューアル計画の概要】

オープン時期	2010年3月11日
リニューアルの目的	積極的な店舗入替えによるMD強化で売上を拡大
対象区域	1期物販ゾーン中心
対象店舗数(リニューアル後)	63店舗
総投資額	約5億円



グランドオープン時の「なんばCITY」
本館地下1階(完成予想図)

なんばCITY再生リニューアル

【リニューアル計画の概要】

	1期	2期
オープン時期	2009年10月16日	2011年4月(予定)
リニューアルの目的	基幹動線の整備による回遊性の向上、鮮度・感度の高い店舗構成による売上拡大	
対象店舗数(リニューアル後)	24店舗	約60店舗
総投資額	約11億円	約36億円(予定)

4.3 3か年経営計画の進捗状況

4) 不動産業、流通業 (なんばエリア)

「フレイザーレジデンス南海大阪」開業(2010年10月)

・中長期滞在型宿泊施設概要

事業スキーム 事業主体(当社)

運営委託先(フレイザーズホスピタリティー社)

客室数 114室

客室概要

ワンルームタイプの「スタジオ」(46室)

1LDKタイプの「1ベッドルーム」(57室)

2LDKタイプの「2ベッドルーム」(11室)

敷地面積 1,233㎡

延床面積 7,670㎡

階数 地上13階

投資額 約30億円



客室(2ベッドルーム)



外観

4.3 3か年経営計画の進捗状況

4) 不動産業、流通業 (沿線)

基本方針

不動産賃貸関連ビジネスの強化及び沿線価値の向上

堺市内の賃貸マンション事業を強化

・シャープ工場進出に伴う住宅需要の獲得及び賃貸マンション事業強化

物件名称	営業開始時期	住戸数	投資額
サザンコート堺	2008年9月	44戸	約7億円
サザンクレスト堺	2010年5月	80戸	約9億円
サザンクレスト七道	2010年10月	49戸	約4億円

沿線商業施設の拡充

物件名称	開業時期	テナント	投資額
ショップ南海堺駅南口	2010年7月	スーパーマーケット他	約4億円
泉佐野駅高架下商業施設	2010年11月	大型ドラッグストア、ベーカリーカフェ他	約6億円



ショップ南海堺駅南口

4.3 3か年経営計画の進捗状況

4) 不動産業 (販売業)

基本方針

既存住宅地の販売促進と新たな事業の展開

南海くまとり・つばさが丘の新街区「グランビューテラス」を開発

分譲マンションの販売促進

物件名称	物件所在地	物件戸数
なんばグランドマスターズタワー()	大阪府大阪市浪速区	321戸
堺東ヴェーモ()	大阪府堺市堺区	330戸
ビッグカーサ堺しらさぎ駅前()	大阪府堺市北区	626戸
グランドメゾン千歳烏山()	東京都世田谷区	65戸
メソンドラッセ住ノ江安立	大阪府大阪市住之江区	49戸
阿倍野松崎町レジデンス()	大阪府大阪市阿倍野区	74戸

() 他社との共同事業物件



なんばグランドマスターズタワー

三井不動産販売株式会社と共同出資による南海リハウス株式会社を設立
・大阪南部地域を中心とした住宅の仲介事業の強化

4.3 3か年経営計画の進捗状況

5) レジャー・サービス業

基本方針

非鉄道事業分野での収益基盤の着実な拡充

葬祭ビジネスの拡大(2014年3月期には20店舗体制を目標に)

- ・5号店「ティア富田林」開業(2010年6月)
- ・6号店「ティア住之江」開業(2010年10月)

ビル管理メンテナンス業

- ・関西圏、首都圏における業容拡大
- ・四国エリアにおける取扱物件の獲得



葬儀会館ティア富田林店

インバウンド事業の推進

- ・予防医療健診ツアー

サンプル行程

	行程概要	宿泊先
1日目	関西国際空港着:(空港特急「ラビート」にて難波駅へ)	スイスホテル南海大阪 もしくは フレイザーレジデンス南海大阪
	高島屋大阪店、ヤマダ電機にてショッピング	
2日目	富永病院(大阪市浪速区)にて脳ドック健診	-
	岸和田徳洲会病院にて心臓ドック健診	
3日目	健診予備日	-
	なんばCITY、なんばパークスにてショッピング	
	難波駅より空港特急「ラビート」にて関空へ	

4.3 3か年経営計画の進捗状況

6) 建設業

基本方針

民間非住宅工事分野への拡大等による受注高の確保と
原価管理の強化等による利益の達成

南海辰村建設 工事原価管理の一層の強化と諸経費削減の推進
連結子会社である南海砂利株式会社の全株式を譲渡(2010年11月)

7) 「環境保全」のための取組み強化

太陽光発電装置の導入

- ・泉佐野駅に設置(2008年4月)
- ・泉大津駅で設置工事進行中、堺駅で設置を検討
- ・南海フェリー
フェリーつるぎ(2010年2月)、フェリーかつらぎ(2010年3月)に導入

南海電鉄本社でのISO14001の認証取得に向けた取組みを推進



泉佐野駅の太陽光発電システム

4.3 3か年経営計画の進捗状況

8) 次期中期経営計画の方向性

高いクオリティを維持しながら「南海グループ」としてのスケールアップを目指す

事業の拡大による成長の実現

- ・人口減少時代の到来を見据え、新たな収益基盤の確立が必要
- ・既存事業の更なる深耕と周辺事業領域への拡大
- ・沿線観光資源をテコに海外を含めたインバウンドの取り組み強化
- ・周辺エリアとの連携を深めた「なんば」のまちづくり推進

債務とキャッシュフローのバランス改善

- ・効率的な事業運営体制によるC / F創出力の維持・向上
- ・投資効率を重視した事業の拡大によるC / Fの獲得

南海電気鉄道株式会社

〒542-8503 大阪市中央区難波五丁目1番60号

経営政策室(IR担当)

TEL:06-6644-7105 FAX:06-6644-7108

URL:<http://www.nankai.co.jp/>

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照ください。本資料で記述しております業績予想及び将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確定要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

MEMO